

緩和ケア研修会「当院で行っている在宅 緩和ケアの実際と課題

～症例検討を基に、多職種間での取り組み、課題を検討する～ アンケート結果

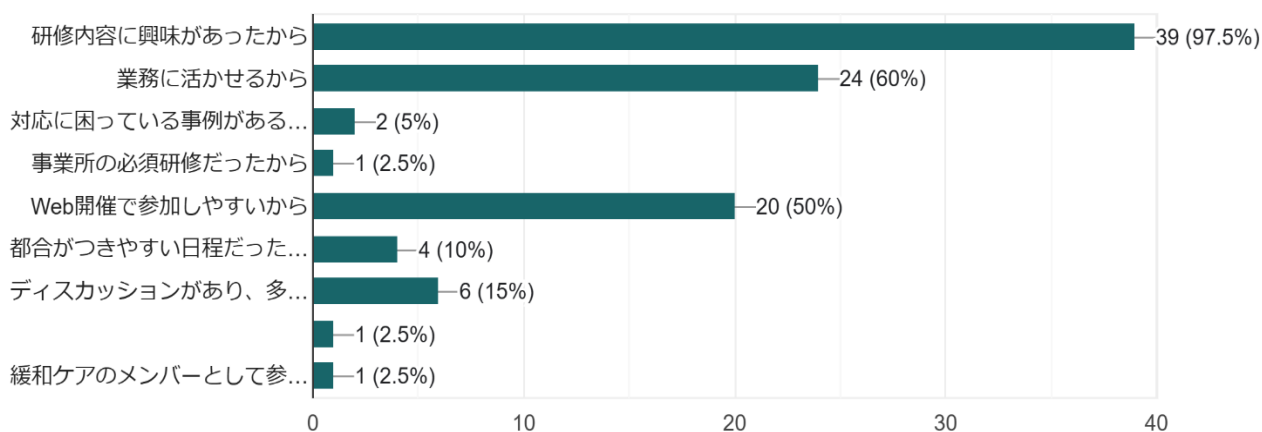
講師 岩崎賢太郎医師 医療法人社団プラタナス 青葉アーバンクリニック

日時 令和7年1月31日(金) 19:30~20:30 会場及びWebハイブリット開催

参加者数 54名(講師 運営関係者除く) アンケート回答数 40名 回答率 74%

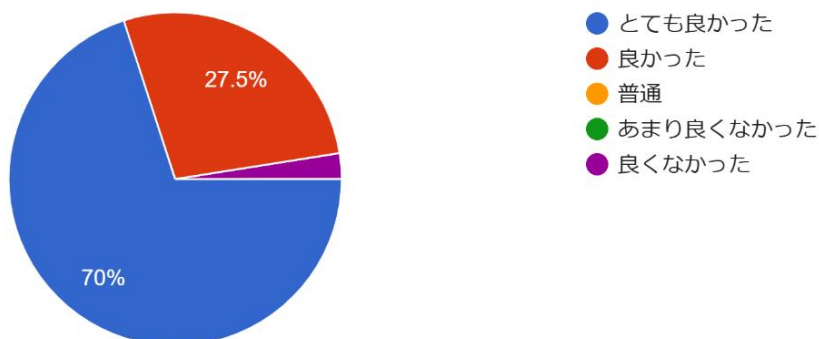
1. 今回研修に参加した理由を教えてください(複数回答可)

40件の回答



2. 研修はいかがでしたか？

40件の回答



理由を教えてください 38 件の回答

代表的なご意見

- ・ 訪問医療の現場の実際、看取り期の家族の気持ち、医師の対応、また周りの関わり方等、事例を通し具体的に理解できた
- ・ 緩和ケアというテーマだったが ACP 的な内容であった。医療者と患者（家族）と認識の差は必ずあると思う。今回は上手くいかなかった事例だったが、どのようなアプローチができたかをディスカッションできたらいいと思った。職種ごとにできる限りの支援が出来ればと思う。
- ・ 家族が終末期であることを受け入れられない似たような事例があり、興味深く拝見しました。ご家族への納得できる説明の難しさが良く分かりました。
- ・ 在宅医療における困難事例のフィードバックを忌憚ない言葉で聞いたのが良かった。
- ・ 緩和ケアの研修会はテクニカルな話になってしまう事が多いが、癌患者への訪問診療を行う際に注意すべき点や、訪問診療全般にわたる「気付き」が沢山紹介されていてよかったですと思います。
- ・ 傾聴の重要性、根気よく向き合っていく事の大切さを改めて感じる事ができる研修内容だったと思います。
- ・ 想像を絶する患者様、ご家族とのやり取りを診させて頂き主治医のご苦勞が少しだけ理解出来ました。医療を担当する医師としていつか自分もそういう立場におかれることの覚悟が必要と感じた。

4. 今後に活かせるような内容はありましたか。あればご記入ください。

28 件の回答

代表的なご意見

- ・ 家族への対応。
- ・ チーム医療の重要性を感じた。
- ・ 訪問診療の方は外来とはまた違った特殊な面があるため具体的な事例などを聞いて勉強になった。
- ・ インフォームドコンセントの重要性。
- ・ 一般の方はまだまだ麻薬に対して拒否がある事や骨転移や腸閉塞の対応。
- ・ 医療情報以外の情報も役に立つので、ケアマネの立場からも情報が欲しい、と言われたことが印象に残った。ケアマネの立場からは医療情報以外のことが多いが、医療職の方たちもそのことをとても大事に考えていることが分かり、情報を共有していくことの大切さを理解した。
- ・ 病院医療と在宅医療の隔たりがあることを認識し、今後の関わりに生かし、寄り添っていきたい。